静岡県立美術館
［エントランス］

01
石上和弘
ISHIGAMI Kazuhiro

ミシラヌ［マチ｜ワタシ］に、会いに行く。

《裾野を歩く、山腹に寝転がる》2013年

http://www.megururi.net

めぐるり アート静岡
2/3 tue → 22 sun
（一部会場は3月1日まで）

主催：静岡大学、静岡県立美術館　助成：平成26年度文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」　協力：静岡市美術館
問い合わせ先：静岡大学アートマネジメント力育成事業事務局　TEL:054-238-4876（平日10:00〜16:00）

静岡大学

ミシラヌ［マチ｜ワタシ］に、会いに行く。

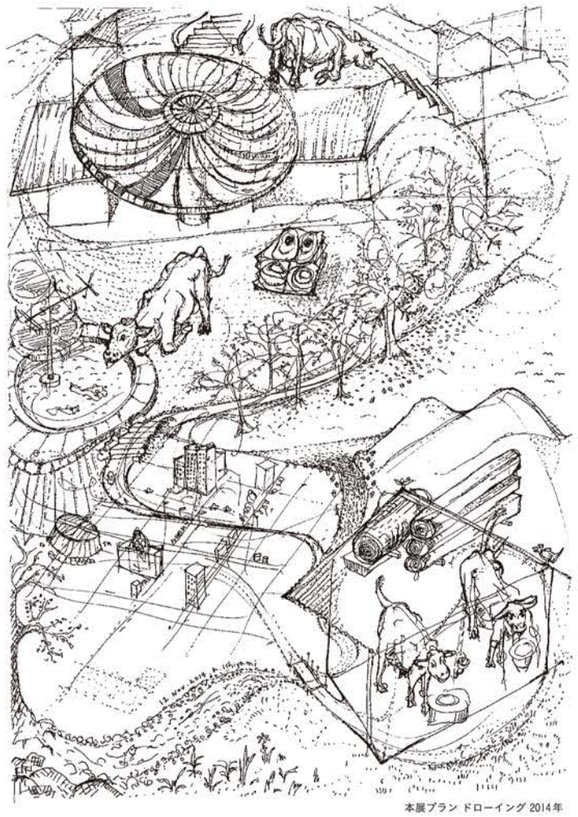
「めぐるりアート静岡」は、今を生きる作家を紹介する展覧会です。7名の作家の多くは静岡にゆかりがあり、また、この土地との交わりを作品にして表現します。美術館からギャラリーや街まで、マップを片手に、「めぐるり」しませんか。いつもの街で、「ミシラヌワタシ」との出会いがあるかもしれません。

ここ静岡をパノラマで見れば、市街地を挟んだ反対側に美術館と自宅（制作場所）があって、それが浅い器（下弦）の両縁にあるような位置関係だ。

作品の牛が美術館の池に顔を突っ込んでいる、片やアトリエ横の牛舎ではモーと啼いて餌を欲しがっている。

エントランスで作品の木製富士山に人が登る、片や木材がアトリエで乾燥を進めながら彫刻になる出番を待っている。

浅い器の片側を押して（美術館での展示）ゆりかごの様に僅かに揺らし、ここでの親密な地続きの広がりを新たに示したい。



本展プラン ドローイング 2014年

01 石上和弘
静岡県立美術館
［エントランス］

1966年　静岡県静岡市生まれ
1991年　武蔵野美術大学彫刻学科卒業
　　静岡市在住
2013年　個展「BOTANICOW」金座ボタニカ／静岡
　　あいちトリエンナーレ2013キッズトリエンナーレ
　　でワークショップ「私の心が雲に乗る」／愛知
2014年　個展「富士景」マキイマサルファインアーツ／東京
　　個展「ポテトチップス／マン」
　　現代ハイツギャラリー伝／東京
　　富士の山ビエンナーレ2014 ／静岡

石上が、木や FRP を素材にした、牛の彫刻を制作するようになって 20 年になる。酪農を営む家に生まれ、幼いころから身近にいた牛や、大地との交わりを形に表すことで、生きることと、表現することの境目を、探り続けてきた。作品は、大きなものが多く、地に足をつけて、ものを作り続けてきた作家ならではの、包容力と、確かさを感じさせる。《裾野を歩く、山腹に寝転がる》では、素材の木のにおいや肌合いを、身体で味わいながら鑑賞することができるのがうれしい。（川谷承子）

●アーティストトーク
2月3日（火）13:00　石上和弘／静岡県立美術館 エントランス
　　14:00　鈴木康広／静岡県立美術館 ロダン館
　　16:00　鈴木貴博／サールナートホール
　　17:30　渡辺依理／Gallery PSYS
2月14日(土) 13:00　齋藤彰英／ギャラリーとりこ
　　14:30　乾　久子／金座ボタニカ

●乾久子ワークショップ「くじ引きドローイング」
日時：2月8日（日）13:00 〜 15:00
　　2月15日(日) 13:00 〜 15:00
場所：金座ボタニカ
定員：各回20人（参加無料・要申込み・先着順）
申込：054-238-4876（アートマネジメント事務局／平日10:00-16:00）

●鈴木貴博　映像作品「砂漠の水」上映（95分）
日時：2月11日(水・祝) 12:00 〜 13:35
場所：サールナートホール　1階ホール
定員：30名（無料・当日11:00から整理券配布）
〜人間として生きるとは何か？その本質を問う〜
＊ 無音映像が上映中続くため、途中入退場はお断り致します。

●素我螺部＋αによるパフォーマンス
サールナートホール 14:00 〜 http//www.megururi.net

●タク・ヨンファン「映像と音楽の夕べ」
映像＋ライブ（丸山研二郎）＋アーティストトーク
日時：2月22日(日) 16:00 〜 17:30
場所：Gallery UDONOS
定員：30名（参加無料・要申込み）
申込：054-346-7669（スノドカフェ）

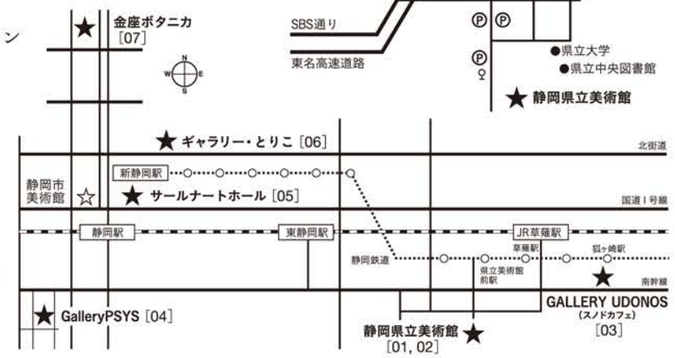
静岡県立美術館 01/02
2/3（火）〜3/1（日）
休館日：月曜日（ただし富士山の日2月23日は開館）
10:00〜17:30（入場は17:00まで）
ロダン館は、収蔵品展観覧料が必要
（一般300円、大学生以下・70歳以上無料）
住所：〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-2　Tel.054-263-5755

［同時期開催］「石田徹也展 —ノート、夢のしるし」
2015年1月24日（土）〜3月25日（水）

http://www.megururi.net
めぐるり アート静岡
2/3 tue → 22 sun
（一部会場は3月1日まで）

（展覧会情報）
Shizubi Project 4 「ヒトのカタチ、彫刻」
津田亜紀子／藤原彩人／青木千絵
静岡市美術館　エントランスホール
2014年12月16日（火）〜2015年3月22日（日）
詳細はhttp://www.shizubi.jp/をご確認ください。

02 鈴木康広
　静岡県立美術館
03 タク・ヨンファン
　Gallery UDONOS
04 渡辺依理
　Gallery PSYS
05 鈴木貴博
　サールナートホール
06 齋藤彰英
　ギャラリー・とりこ
07 乾　久子
　金座ボタニカ



●静岡県立美術館 Tel.054-263-5755　●GALLERY UDONOS Tel.054-346-7669（スノドカフェ）　●Gallery PSYS Tel.054-288-1766　●サールナートホール Tel.054-273-7450　●ギャラリー・とりこ Tel.054-252-2364　●金座ボタニカ Tel.090-6113-5421（下山）

静岡県立美術館
［ロダン館］

02 鈴木康広
SUZUKI Yasuhiro

ミシラヌ［マチ｜ワタシ］に、会いに行く。

《空気の人》2007年　Photo: 関口尚志 / amanagroup

http://www.megururi.net

めぐるり アート静岡
2/3 tue → 22 sun
（一部会場は3月1日まで）

主催：静岡大学、静岡県立美術館　助成：平成26年度文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」　協力：静岡市美術館
問い合わせ先：静岡大学アートマネジメント力育成事業事務局　TEL:054-238-4876（平日10:00〜16:00）

静岡大学

ミシラヌ［マチ｜ワタシ］に、会いに行く。

「めぐるりアート静岡」は、今を生きる作家を紹介する展覧会です。7名の作家の多くは静岡にゆかりがあり、また、この土地との交わりを作品にして表現します。美術館からギャラリーや街角まで、マップを片手に、「めぐるり」しませんか。いつもの街で、「ミシラヌワタシ」との出会いがあるかもしれません。

静岡といえば「鈴木」の姓が日本一多く、気候から人の気質まで総じて「ふつう」と言われています。美大に入ったばかりの頃、創作活動への理解が浅く、クリエーターとして生きていく上で「鈴木」は不利だと思っていました。その後、作品制作を通して、日常に潜む人間の共通感覚を掘り起こす活動を続けてきました。現在、「鈴木」という苗字をまとい、18歳まで静岡の地で呼吸してきた「ふつう」の感覚が、自分の創作の源を成しているように感じています。

今回、めぐるりアートへの参加が決まり、静岡県立美術館のロダン館と再会しました。人間の肉体を強く意識させながら内的な人間像を追究したロダンの彫刻。僕はロダン館をめぐるうちに、その空間に《空気の人》が見えてしまいました。異質な 2 つの像が居合わせることで何が見えてくるのか。あの日、見えてしまったものを探し当てるような感覚で、ロダン館と対話したいと思っています。

本展プラン ドローイング 2014年

02 鈴木康広
静岡県立美術館
［ロダン館］

Photo: Masako Nakagawa

1979年　静岡県浜松市生まれ
2001年　東京造形大学デザイン学科卒業
　　東京都在住
2010年　瀬戸内国際芸術祭2010／香川
2011年　第4回モスクワビエンナーレ／モスクワ
2014年　ミッション［宇宙×芸術］－コスモロジーを超えて
　　東京都現代美術館／東京
2014年　鈴木康広「近所の地球」水戸芸術館現代美術センター／茨城
2014年　鈴木康広「見立て」の実験室　金沢21世紀美術館／石川

Yasuhiro Suzuki

鈴木の軽妙で、驚きに満ちた作風は、他ジャンルの表現者からも高い評価を得ている。発想の源は、思い立ったら書きこむアイデア帳。膨大なノートの山を見ていると、作品化されているのは、まだまだ、ほんの一部にすぎないことに気づかされる。デザイン科出身という出自からも、他の現代作家とは、毛色が異なる。良い意味で美術史の固定観念にまったくしばられていない、と言おうか。その彼が、今回、近代彫刻の祖と呼ばれるロダンの彫刻とどう対峙するのか。出来上がる空間が楽しみである。（川谷承子）

●アーティストトーク
2月3日（火）13:00　石上和弘／静岡県立美術館 エントランス
　　14:00　鈴木康広／静岡県立美術館 ロダン館
　　16:00　鈴木貴博／サールナートホール
　　17:30　渡辺依理／Gallery PSYS
2月14日（土）13:00　齋藤彰英／ギャラリーとりこ
　　14:30　乾　久子／金座ボタニカ

●乾久子ワークショップ「くじ引きドローイング」
日時：2月8日（日）13:00 〜 15:00
　　2月15日（日）13:00 〜 15:00
場所：金座ボタニカ
定員：各回20人（参加無料・要申込み・先着順）
申込：054-238-4876（アートマネジメント事務局／平日10:00-16:00）

●鈴木貴博　映像作品「砂漠の水」上映（95分）
日時：2月11日（水・祝）12:00 〜 13:35
場所：サールナートホール　1階ホール
定員：30名（無料・当日11:00から整理券配布）
〜人間として生きるとは何か？その本質を問う〜
＊無音映像が上映中続くため、途中入退場はお断り致します。

●素我螺部＋αによるパフォーマンス
サールナートホール 14:00 〜 http//www.megururi.net

●タク・ヨンファン「映像と音楽の夕べ」
映像＋ライブ（丸山研二郎）＋アーティストトーク
日時：2月22日（日）16:00 〜 17:30
場所：Gallery UDONOS
定員：30名（参加無料・要申込み）
申込：054-346-7669（スノドカフェ）

静岡県立美術館 01/02
2/3（火）〜3/1（日）
休館日：月曜日（ただし富士山の日2月23日は開館）
10:00〜17:30（入場は17:00まで）
ロダン館は、収蔵品展観覧料が必要
（一般300円、大学生以下・70歳以上無料）
住所：〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-2　Tel.054-263-5755

［同時期開催］「石田徹也展 —ノート、夢のしるし」
2015年1月24日（土）〜3月25日（水）

http://www.megururi.net
めぐるり アート静岡
2/3 tue → 22 sun
（一部会場は3月1日まで）

01 石上和弘
静岡県立美術館

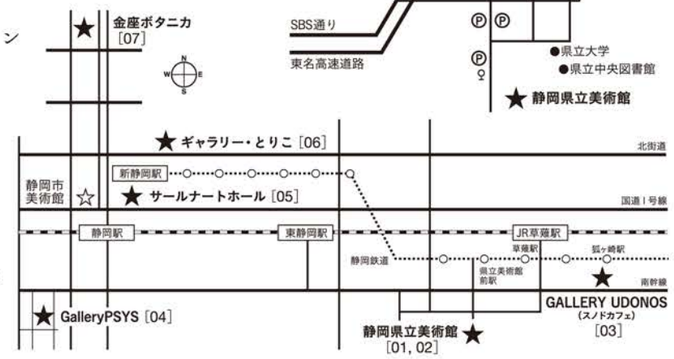
03 タク・ヨンファン
Gallery UDONOS

04 渡辺依理
Gallery PSYS

05 鈴木貴博
サールナートホール

06 齋藤彰英
ギャラリー・とりこ

07 乾　久子
金座ボタニカ



（展覧会情報）
Shizubi Project 4「ヒトのカタチ、彫刻」
津田亜紀子／藤原彩人／青木千絵
静岡市美術館 エントランスホール
2014年12月16日（火）〜2015年3月22日（日）
詳細はhttp://www.shizubi.jp/をご確認ください。

●静岡県立美術館 Tel.054-263-5755　●GALLERY UDONOS Tel.054-346-7669（スノドカフェ）　●Gallery PSYS Tel.054-288-1766　●サールナートホール Tel.054-273-7450　●ギャラリー・とりこ Tel.054-252-2364　●金座ボタニカ Tel.090-6113-5421（下山）

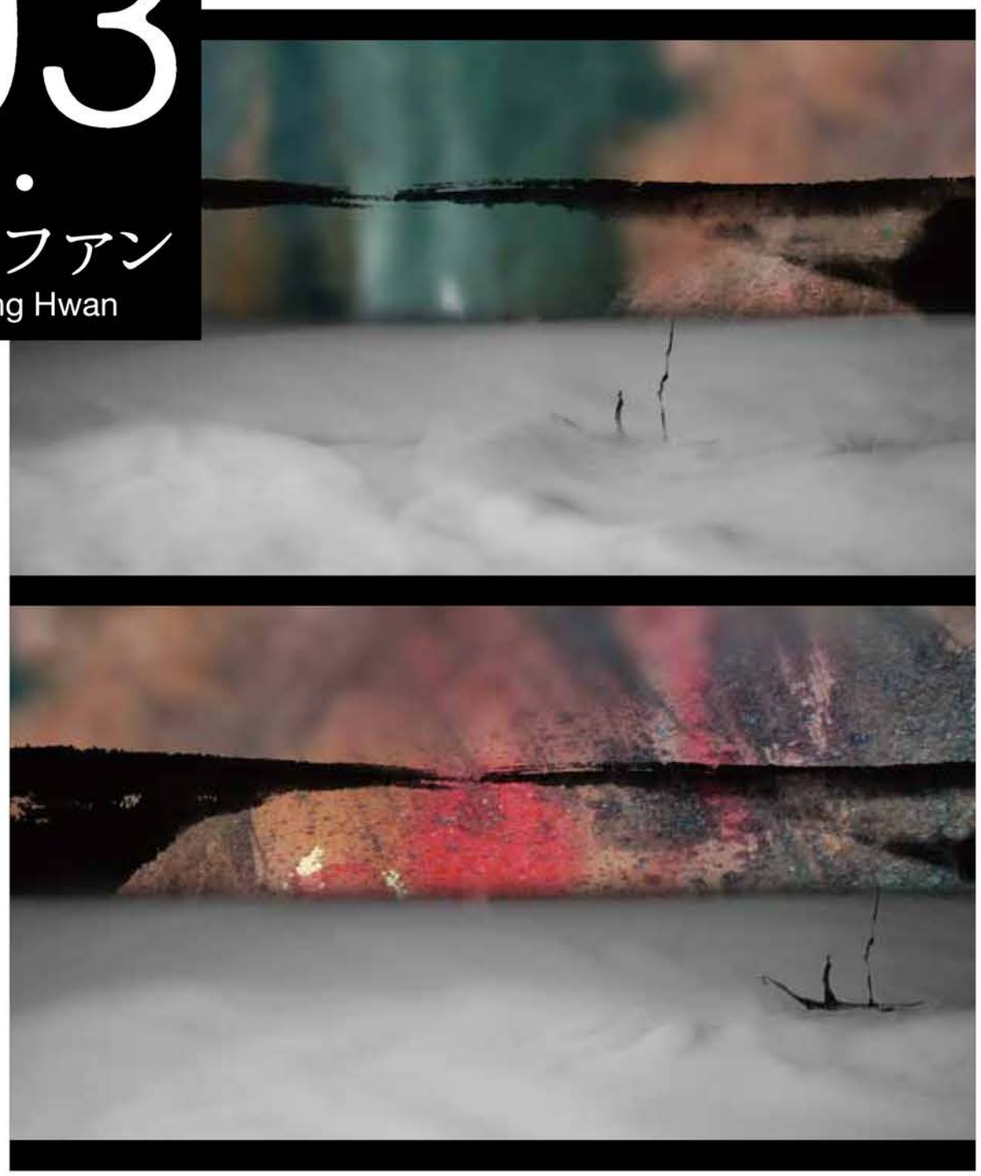
Gallery UDONOS

03

タク・ヨンファン

Tak Yong Hwan

ミシラヌ［マチ｜ワタシ］に、会いに行く。



《レッテの河・Lethe》2012年

http://www.megururi.net

めぐるり アート静岡

2/3 tue → 22 sun

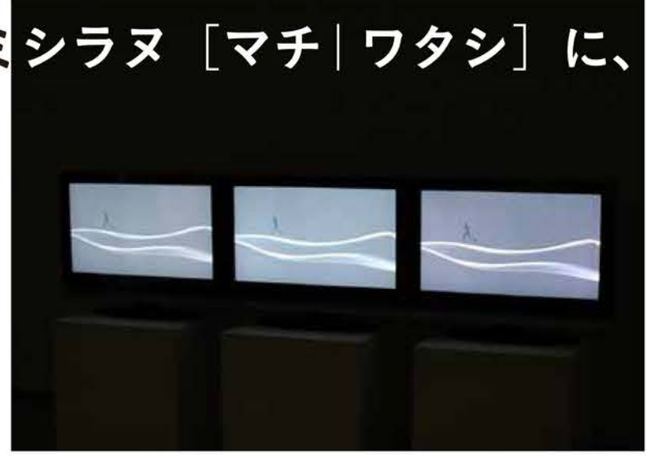
（一部会場は3月1日まで）

主催：静岡大学、静岡県立美術館　助成：平成26年度文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」　協力：静岡市美術館
問い合わせ先：静岡大学アートマネジメント力育成事業事務局　TEL:054-238-4876（平日10:00〜16:00）

文化力 POWER OF CULTURE　静岡大学

ミシラヌ［マチ｜ワタシ］に、会いに行く。

「めぐるりアート静岡」は、今を生きる作家を紹介する展覧会です。7名の作家の多くは静岡にゆかりがあり、また、この土地との交わりを作品にして表現します。美術館からギャラリーや画廊まで、マップを片手に、「めぐるり」しませんか。いつもの街で、「ミシラヌワタシ」との出会いがあるかもしれません。



《環生・circle of apollonios》2007年

03 タク・ヨンファン

Gallery UDONOS

映像作家・アニメーター
1969年　全州市生まれ（韓国）
1995年　全州大学　人文大学　英文英語学科　卒業
2005年　武蔵野美術大学 大学院造形研究科
　　デザイン専攻映像コース　修了
　　全州市在住
2008年　「イメージ・フェノメナン｜映像の新領域」
　　シルクギャラリー／ソウル
2010年　個展「雲海之歌」ソシンギャラリー／全州
2011年　個展「法故創新」ギョードンアートスタジオ／全州
2012年　個展「一期一会」白矢ギャラリー／東京
2014年　韓日交流展「映像とは何だろうか」
　　ギョードンアート美術館 ／全州

タク・ヨンファンは生まれ故郷の大韓民国全州市を拠点に創作活動を行う映像作家である。CM制作監督としてキャリアを積んでいた卓は、作家活動を開始するために学びの場として選んだのが武蔵野美術大学。現在水墨画のアニメーションが高い評価を得ているのは、日本での経験が十分に活かされているからだろう。在学中に音楽家を通して静岡との繋がりを持った。全州は静岡と似ているところが多いと聞く。二つの地域をモチーフに新作も発表する。（柚木康裕）

＜螺旋 ― いきのこる＞
我々の人生は運命という迷路に迷い込んでいる。
その迷いの螺旋から抜け出るために
芸術家は絵を描く。
それこそが私たちクリエーターが
生き残るための宿命である。

＜遭遇 ― めぐりあい＞
幼いときから風景を見るのが好きだった。
どこに行ってもその場所についてるにおいがある。
そしてその風景やにおいは
私のクリエーション（創作）にインスピレーションを与える。

静岡は私の故郷と似ている。
豊かなインスピレーション、
良さそうなにおい。
それで好きになってしまった。

＜縁 ― つながり＞
人生の中、似てないけどすぐ好きになってしまう人がいる。
離れていてもそのつながりが切られない人がいる。

東京から静岡へ、
静岡から全州へ、

その縁は何があっても何処にいても
結びつけられているだろう。

●アーティストトーク
2月3日（火）13:00　石上和弘／静岡県立美術館 エントランス
　　14:00　鈴木康広／静岡県立美術館 ロダン館
　　16:00　鈴木貴博／サールナートホール
　　17:30　渡辺依理／Gallery PSYS
2月14日(土) 13:00　齋藤彰英／ギャラリーとりこ
　　14:30　乾　久子／金座ボタニカ

●乾久子ワークショップ「くじ引きドローイング」
日時：2月8日（日）13:00 〜 15:00
　　2月15日（日）13:00 〜 15:00
場所：金座ボタニカ
定員：各回20人（参加無料・要申込み・先着順）
申込：054-238-4876（アートマネジメント事務局／平日10:00-16:00）

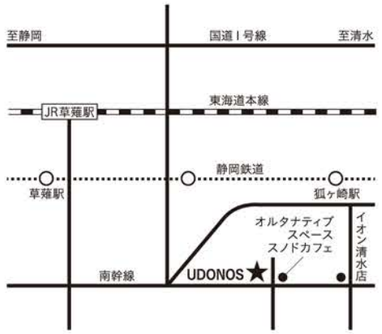
●鈴木貴博　映像作品「砂漠の水」上映（95分）
日時：2月11日(水・祝) 12:00 〜 13:35
場所：サールナートホール　1階ホール
定員：30名（無料・当日11:00から整理券配布）
〜人間として生きるとは何か？その本質を問う〜
＊ 無音映像が上映中続くため、途中入退場はお断り致します。

●素我螺部＋αによるパフォーマンス
サールナートホール 14:00 〜 http//www.megururi.net

●タク・ヨンファン「映像と音楽の夕べ」
映像＋ライブ（丸山研二郎）＋アーティストトーク
日時：2月22日(日) 16:00 〜 17:30
場所：Gallery UDONOS
定員：30名（参加無料・要申込み）
申込：054-346-7669（スノドカフェ）

03 GALLERY UDONOS

2/3(火)〜2/22(日)　休廊日：月曜日
11:00〜19:00　入場無料
住所：〒424-0871 静岡市清水区上原2-5-5-1F
Tel：054-346-7669（スノドカフェ）
駐車場5台



http://www.megururi.net

めぐるり アート静岡

2/3 tue → 22 sun

（一部会場は3月1日まで）

01 石上和弘
静岡県立美術館

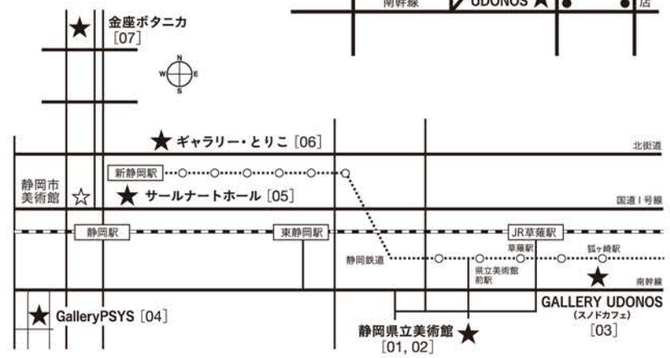
02 鈴木康広
静岡県立美術館

04 渡辺依理
Gallery PSYS

05 鈴木貴博
サールナートホール

06 齋藤彰英
ギャラリー・とりこ

07 乾　久子
金座ボタニカ



（展覧会情報）
Shizubi Project 4「ヒトのカタチ、彫刻」
津田亜紀子／藤原彩人／青木千絵
静岡市美術館 エントランスホール
2014年12月16日（火）〜2015年3月22日（日）
詳細はhttp://www.shizubi.jp/をご確認ください。

●静岡県立美術館 Tel.054-263-5755　●GALLERY UDONOS Tel.054-346-7669（スノドカフェ）　●Gallery PSYS Tel.054-288-1766　●サールナートホール Tel.054-273-7450　●ギャラリー・とりこ Tel.054-252-2364　●金座ボタニカ Tel.090-6113-5421（下山）

Gallery PSYS

04

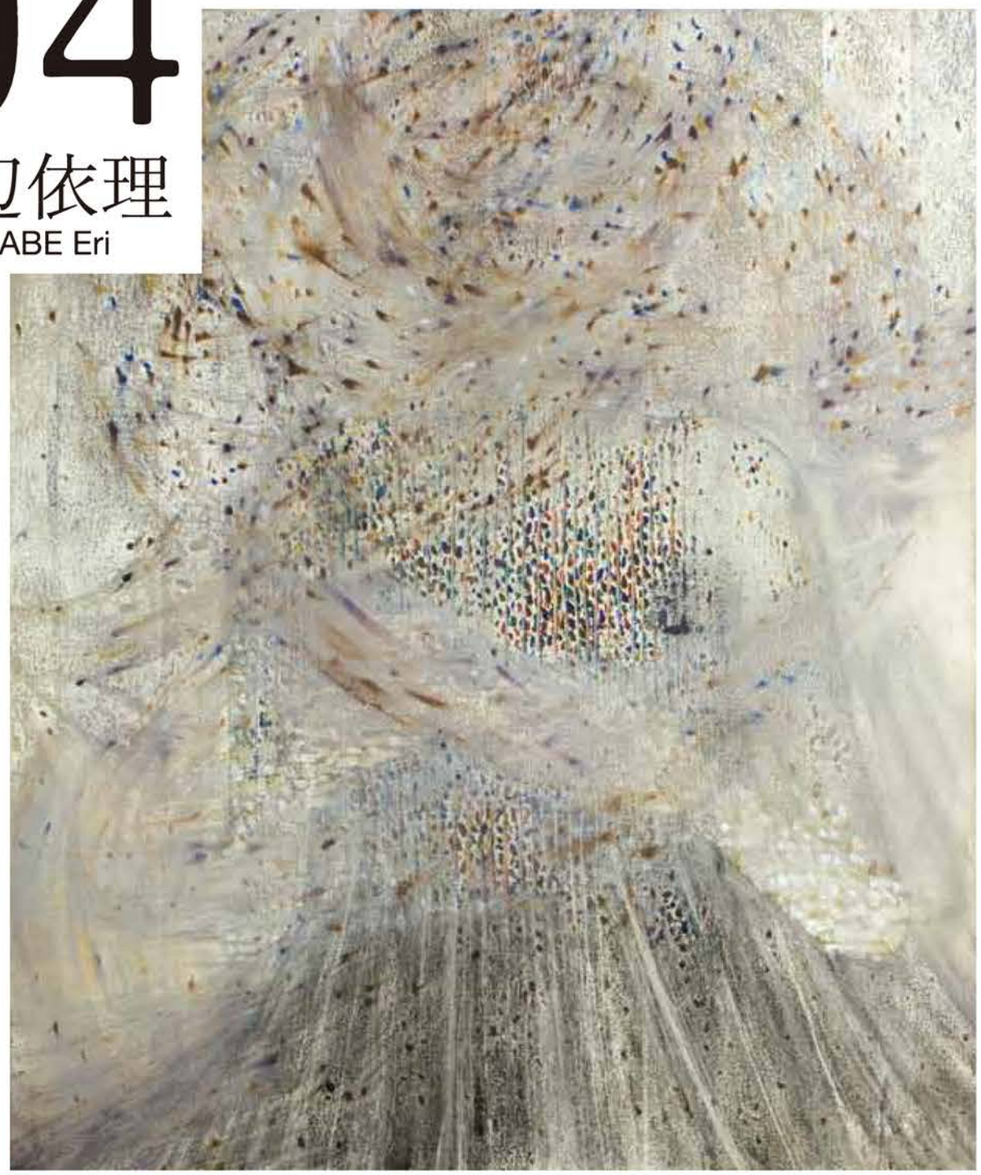
渡辺依理

WATANABE Eri

ミシラヌ

「マチ｜ワタシ」

に、会いに行く。



《Figure》2014年

http://www.megururi.net

めぐるり アート静岡

2/3 tue → 22 sun

（一部会場は3月1日まで）

主催：静岡大学、静岡県立美術館　助成：平成26年度文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」　協力：静岡市美術館
問い合わせ先：静岡大学アートマネジメント力育成事業事務局　TEL:054-238-4876（平日10:00〜16:00）

静岡大学

ミシラヌ［マチ｜ワタシ］に、会いに行く。

「めぐるりアート静岡」は、今を生きる作家を紹介する展覧会です。7名の作家の多くは静岡にゆかりがあり、また、この土地との交わりを作品にして表現します。美術館からギャラリーや街まで、マップを片手に、「めぐるり」しませんか。いつもの街で、「ミシラヌワタシ」との出会いがあるかもしれません。

まとわりつく浜風に煽られて
目もまともに開く事ができず
必死の形相で自転車をこいでいた。
地平線に伸びた砂丘に足をとられて
一歩一歩自分の重さを感じながら
ただひたすら歩き続けていた。
小さな体が感じた大きな力。
今ではないいつか
途方もない大きな力が現れて
目を閉じる事しかできず
自分の重さに押し潰されてしまったら。
きっと暗い闇の中へ意識を集中させながら
深く潜り続けるだろう。
小さな体が教えてくれる
向き合えばいいのだと。
たとえ頼りないものでも
何かに繋がる瞬間がある。

04 渡辺依理

Gallery PSYS

静岡県浜松市生まれ
東京造形大学　造形学部美術学科絵画専攻卒業
東京都在住

2002年　「JUST BRING IT」セゾンアートプログラム・ギャラリー／東京
2003年　個展「渡辺依理展」人形町エキジビットスペースVision's／東京
2005年　個展「LOOK」studio ZOU／東京
2007年　「ART TODAY 2007 門田光雅　渡辺依理」セゾン現代美術館／長野
2008年　「VOCA展 2008 新しい平面の作家たち」上野の森美術館／東京

画面をはげしくスクラッチして独特な絵肌を作る、きわめてユニークな作風で、渡辺は世に出てきた。だが、そのスタイルの特殊性は、それゆえにこそ、あらためて何をどう表現するのかを問わずにはおかなかったようである。渡辺が本格的な作品発表を控えるようになって、はや 5 年ほど経つ。その間に世の中は大きく動き、また渡辺自身も変わったであろう。久しぶりの発表で、何を見せてもらえるのか、期待して待ちたい。（堀切正人）

《Figure》2014年

●アーティストトーク

2月3日（火）13:00　石上和弘／静岡県立美術館 エントランス
14:00　鈴木康広／静岡県立美術館 ロダン館
16:00　鈴木貴博／サールナートホール
17:30　渡辺依理／Gallery PSYS
2月14日（土）13:00　齋藤彰英／ギャラリーとりこ
14:30　乾　久子／金座ボタニカ

●乾久子ワークショップ「くじ引きドローイング」

日時：2月8日（日）13:00〜15:00
2月15日（日）13:00〜15:00
場所：金座ボタニカ
定員：各回20人（参加無料・要申込み・先着順）
申込：054-238-4876（アートマネジメント事務局／平日10:00-16:00）

●鈴木貴博　映像作品「砂漠の水」上映（95分）

日時：2月11日（水・祝）12:00〜13:35
場所：サールナートホール　1階ホール
定員：30名（無料・当日11:00から整理券配布）
〜人間として生きるとは何か？その本質を問う〜
＊無音映像が上映中続くため、途中入退場はお断り致します。

●素我螺部＋αによるパフォーマンス

サールナートホール 14:00〜http//www.megururi.net

●タク・ヨンファン「映像と音楽の夕べ」

映像＋ライブ（丸山研二郎）＋アーティストトーク
日時：2月22日（日）16:00〜17:30
場所：Gallery UDONOS
定員：30名（参加無料・要申込み）
申込：054-346-7669（スノドカフェ）

04 Gallery PSYS

2/3（火）〜2/22（日）　休廊日：月曜日
13:00〜20:00　入場無料
住所：〒422-8058 静岡市駿河区中原176
Tel：054-288-1766
駐車場5台

http://www.megururi.net

めぐるり アート静岡

2/3 tue → 22 sun

（一部会場は3月1日まで）

（展覧会情報）
Shizubi Project 4「ヒトのカタチ、彫刻」
津田亜紀子／藤原彩人／青木千絵
静岡市美術館　エントランスホール
2014年12月16日（火）〜2015年3月22日（日）
詳細はhttp://www.shizubi.jp/をご確認ください。

01 石上和弘
静岡県立美術館

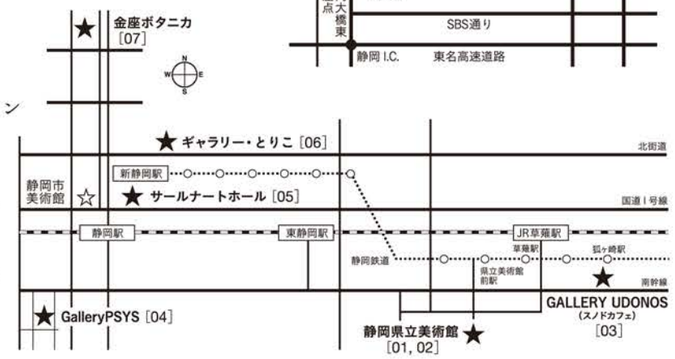
02 鈴木康広
静岡県立美術館

03 タク・ヨンファン
Gallery UDONOS

05 鈴木貴博
サールナートホール

06 齋藤彰英
ギャラリー・とりこ

07 乾　久子
金座ボタニカ



●静岡県立美術館 Tel.054-263-5755　●GALLERY UDONOS Tel.054-346-7669（スノドカフェ）　●Gallery PSYS Tel.054-288-1766　●サールナートホール Tel.054-273-7450　●ギャラリー・とりこ Tel.054-252-2364　●金座ボタニカ Tel.090-6113-5421（下山）

サールナートホール

05

鈴木貴博
SUZUKI Takahiro

ミシラヌ

「マチ｜ワタシ」

に、会いに行く。

《UFO》2012年

http://www.megururi.net

めぐるり アート静岡

2/3 tue → 22 sun

（一部会場は3月1日まで）

主催：静岡大学、静岡県立美術館　助成：平成26年度文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」　協力：静岡市美術館
問い合わせ先：静岡大学アートマネジメント力育成事業事務局　TEL:054-238-4876（平日10:00〜16:00）

静岡大学

ミシラヌ［マチ｜ワタシ］に、会いに行く。

「めぐるりアート静岡」は、今を生きる作家を紹介する展覧会です。7名の作家の多くは静岡にゆかりがあり、また、この土地との交わりを作品にして表現します。美術館からギャラリーや劇場まで、マップを片手に、「めぐるり」しませんか。いつもの街で、「ミシラヌワタシ」との出会いがあるかもしれません。

昔、父方の祖母が静岡の吉原で旅館を営んでいたこともあり、子供の頃よく遊びに行った記憶がある。お正月には餅つきをしたり、お年玉をもらっては従兄弟と近所のプラモデル屋や駄菓子屋に走った。あの時体験した、製紙工場の匂いや、そびえ立つ富士山の姿など今も記憶の片隅に鮮明に残っている。

その後、大人になってからの静岡の印象は、富士山、お茶、みかん、わさび漬け、生シラス、桜えび、サッカーなど、一般的なもの。2014年10月に展覧会のリサーチで訪れた際は、穏やかな気候やのんびりとした時間を感じた。

今回、色々と展示プランを練ったが、結果、釈迦が初めて説法をした場所「サールナート」から命名された「サールナートホール」（展示場所）には「わ」をつくる力があるのではと思い「未来人」の展示を決めた。

混沌とした時代を生き抜く術として、様々なものと手を取り合うというメッセージを感じてほしい。

《未来人－IKIRO 2015》2015年

※この作品には小・中学生のみ乗ることができます。

05 鈴木貴博
サールナートホール

1967年　大阪府吹田市生まれ
1991年　多摩美術大学 絵画科油画専攻卒業
1993年　多摩美術大学大学院 美術研究科修了
　　宝塚市在住
2001年　"IKIRO－Be Alive"
　　クローラー・ミュラー美術館／オランダ
2007年　個展 "IKIRO at Bethanien"
　　クンストラーハウス ベタニエン／ドイツ
2012年　"A as A Project 2012 in Guangzhou"
　　53 美術館／中国
2013年　《北極星入口駅》常設　野外作品
　　能勢電鉄100周年記念企画／兵庫
2014年　個展「生きろ美術館展」
　　福岡市美術館／福岡

紙に墨で「生きろ」と書きながら、世界各地を巡り、様々な人たちと生きることの本質について語り合う。鈴木貴博は、この「生きろ」プロジェクトで名高い作家である。だが同時に彼は、すぐれた造形表現者でもあるのだ。北極星に向けて線路を引いたり、古今東西の名画を模写、改変したりする最近の仕事には、どこか夢のある温かさが感じられる。それは、生きることの根本からにじみ出る生命エネルギーのひとつの表れなのだと思う。（堀切正人）

●アーティストトーク
2月3日（火）13:00　石上和弘／静岡県立美術館 エントランス
　　14:00　鈴木康広／静岡県立美術館 ロダン館
　　16:00　鈴木貴博／サールナートホール
　　17:30　渡辺依理／Gallery PSYS
2月14日(土) 13:00　齋藤彰英／ギャラリーとりこ
　　14:30　乾　久子／金座ボタニカ

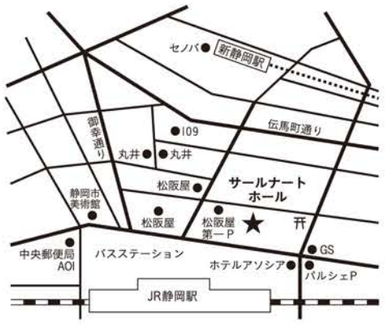
●乾久子ワークショップ「くじ引きドローイング」
日時：2月8日（日）13:00〜15:00
　　2月15日（日）13:00〜15:00
場所：金座ボタニカ
定員：各回20人（参加無料・要申込み・先着順）
申込：054-238-4876（アートマネジメント事務局／平日10:00-16:00）

●鈴木貴博　映像作品「砂漠の水」上映（95分）
日時：2月11日（水・祝）12:00〜13:35
場所：サールナートホール　1階ホール
定員：30名（無料・当日11:00から整理券配布）
〜人間として生きるとは何か？その本質を問う〜
＊無音映像が上映中続くため、途中入退場はお断り致します。

●素我蝶部＋αによるパフォーマンス
サールナートホール 14:00〜http//www.megururi.net

●タク・ヨンファン「映像と音楽の夕べ」
映像＋ライブ（丸山研二郎）＋アーティストトーク
日時：2月22日（日）16:00〜17:30
場所：Gallery UDONOS
定員：30名（参加無料・要申込み）
申込：054-346-7669（スノドカフェ）

05 サールナートホール
2/3（火）〜2/22（日）　休館日：なし
10:00〜17:00　入場無料
住所：〒420-0857 静岡市葵区御幸町11-14
Tel：054-273-7450



http://www.megururi.net

めぐるり アート静岡

2/3 tue → 22 sun

（一部会場は3月1日まで）

（展覧会情報）
Shizubi Project 4「ヒトのカタチ、彫刻」
津田亜紀子／藤原彩人／青木千絵
静岡市美術館　エントランスホール
2014年12月16日（火）〜2015年3月22日（日）
詳細はhttp://www.shizubi.jp/をご確認ください。

01 石上和弘
静岡県立美術館

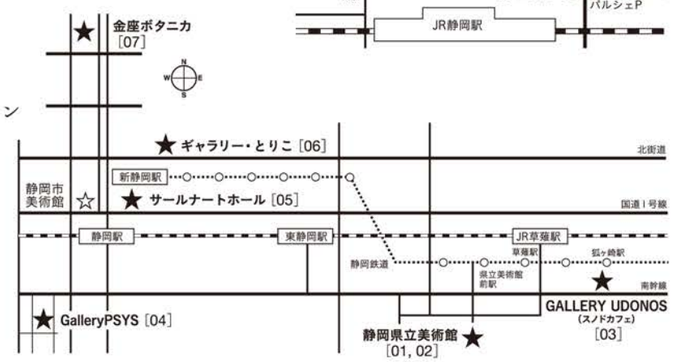
02 鈴木康広
静岡県立美術館

03 タク・ヨンファン
Gallery UDONOS

04 渡辺依理
Gallery PSYS

06 齋藤彰英
ギャラリー・とりこ

07 乾　久子
金座ボタニカ



●金座ボタニカ Tel. 090-6113-5421（下山）
●ギャラリー・とりこ Tel. 054-252-2364
●サールナートホール Tel. 054-273-7450
●Gallery PSYS Tel. 054-288-1766
●スノドカフェ Tel. 054-346-7669
●GALLERY UDONOS Tel. 054-263-5755
●静岡県立美術館

ギャラリー・とりこ

06

齋藤彰英

SAITO Akihide

ミシラヌ

「マチ｜ワタシ」

に、会いに行く。

《沈降》部分 2014年

http://www.megururi.net

めぐるり

アート静岡

2/3 tue → 22 sun

（一部会場は3月1日まで）

主催：静岡大学、静岡県立美術館　助成：平成26年度文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」　協力：静岡市美術館

問い合わせ先：静岡大学アートマネジメント力育成事業事務局　TEL:054-238-4876（平日10:00〜16:00）

静岡大学

ミシラヌ［マチ｜ワタシ］に、会いに行く。

「めぐるりアート静岡」は、今を生きる作家を紹介する展覧会です。7名の作家の多くは静岡にゆかりがあり、また、この土地との交わりを作品にして表現します。美術館からギャラリーや商館まで、マップを片手に、「めぐるり」しませんか。いつもの街で、「ミシラヌワタシ」との出会いがあるかもしれません。

私は写真を主な表現手段とし、フィールドワークの中で作品を制作しています。その過程の中で、体に刻まれた記憶を引き出そうとしています。被写体は、水が生み出す景色や、水のうねりによって作られた形態です。撮影する行為によって、私は水によって作り出された“土地の記憶”が、体の中にある“生命記憶”と繋がり、そして写真として写し出されると感じているからです。つまり、カメラのレンズは“水による景色”と“眼球の水晶体”とを繋ぐ等質の窓となり、その窓は景色の中に私を、同時に私の中へ景色を流入させます。レンズを通して相互に流入することで、そこには形の定まらない“うねり”が生まれ、カメラはその一瞬を定着させています。

本展では、2000 万年前に日本列島を東西に分けていた海の記憶を頼りに作品を制作しています。

《沈降》部分 2014年

06 齋藤彰英

ギャラリーとりこ

1983年　静岡県静岡市生まれ
2007年　多摩美術大学 情報デザイン学科情報芸術 卒業
2009年　東京藝術大学大学院 先端芸術表現 修了
現　在　多摩美術大学 メディア芸術研究室 副手
　　神奈川県在住
2014年　個展「深く、より深く」国営アルプスあづみの公園／「食とアートの廻廊」長野
　　個展「共沈する景色」黄金町Site-A／神奈川
2013年　個展「“憶”へのまなざし」わちがい「原始感覚美術祭」／長野
　　グループ展「不可思議のリテラシー」東京都美術館公募企画展／東京
2012年　個展「網触共沈」横浜市民ギャラリーあざみ野／神奈川

齋藤がカメラを持ちフィールドワークするのは、決定的瞬間を撮るのでも、崇高な風景を切り取るのでもない。それは彼の云う「共同体の景色」を現前させる光を探すための行為だ。より微弱な光は、不確かな確かさを露にさせ、固着しない揺らぎの形となって私たちの前に現れる。そこに浮かび上がる本質的な形態は私たちの記憶とも無縁ではない。遥かなる生命記憶へのまなざしは生まれ故郷静岡の地でどんな光を見つけるのだろうか。（柚木康裕）

●アーティストトーク

2月3日（火）13:00　石上和弘／静岡県立美術館 エントランス
　　14:00　鈴木康広／静岡県立美術館 ロダン館
　　16:00　鈴木貴博／サールナートホール
　　17:30　渡辺依理／Gallery PSYS
2月14日(土) 13:00　齋藤彰英／ギャラリーとりこ
　　14:30　乾　久子／金座ボタニカ

●乾久子ワークショップ「くじ引きドローイング」

日時：2月8日（日）13:00 〜 15:00
　　2月15日(日) 13:00 〜 15:00
場所：金座ボタニカ
定員：各回20人（参加無料・要申込み・先着順）
申込：054-238-4876（アートマネジメント事務局／平日10:00-16:00）

●鈴木貴博　映像作品「砂漠の水」上映（95分）

日時：2月11日(水・祝) 12:00 〜 13:35
場所：サールナートホール　1階ホール
定員：30名（無料・当日11:00から整理券配布）
〜人間として生きるとは何か？その本質を問う〜
＊無音映像が上映中続くため、途中入退場はお断り致します。

●素我螺部＋αによるパフォーマンス

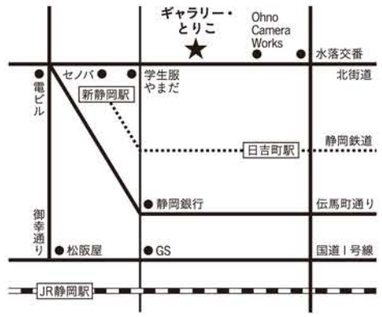
サールナートホール 14:00 〜 http//www.megururi.net

●タク・ヨンファン「映像と音楽の夕べ」

映像＋ライブ（丸山研二郎）＋アーティストトーク
日時：2月22日(日) 16:00 〜 17:30
場所：Gallery UDONOS
定員：30名（参加無料・要申込み）
申込：054-346-7669（スノドカフェ）

06 ギャラリー・とりこ

2/3（火）〜2/22（日）　休廊日：木曜日
11:00〜19:00　入場無料
住所：〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-46
Tel：054-252-2364



http://www.megururi.net

めぐるり

アート静岡

2/3 tue → 22 sun

（一部会場は3月1日まで）

（展覧会情報）
Shizubi Project 4「ヒトのカタチ、彫刻」
津田亜紀子／藤原彩人／青木千絵
静岡市美術館 エントランスホール
2014年12月16日（火）〜2015年3月22日（日）
詳細はhttp://www.shizubi.jp/をご確認ください。

01 石上和弘
静岡県立美術館

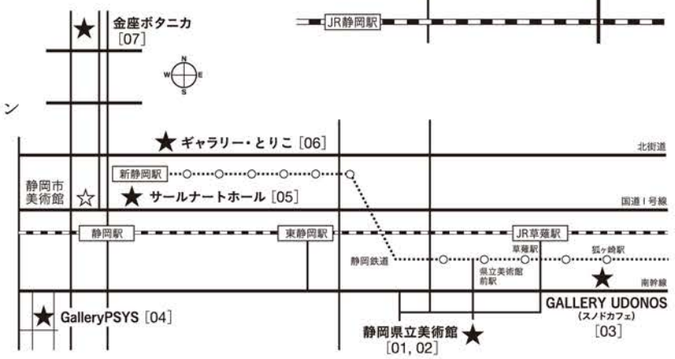
02 鈴木康広
静岡県立美術館

03 タク・ヨンファン
Gallery UDONOS

04 渡辺依理
Gallery PSYS

05 鈴木貴博
サールナートホール

07 乾　久子
金座ボタニカ



●静岡県立美術館 Tel.054-263-5755　●GALLERY UDONOS Tel.054-346-7669（スノドカフェ）　●Gallery PSYS Tel.054-288-1766　●サールナートホール Tel.054-273-7450　●ギャラリー・とりこ Tel.054-252-2364　●金座ボタニカ Tel.090-6113-5421（下山）

金座ボタニカ

07

乾　久子

INUI Hisako

http://www.megururi.net

めぐるり アート静岡

2/3 tue → 22 sun

（一部会場は3月1日まで）

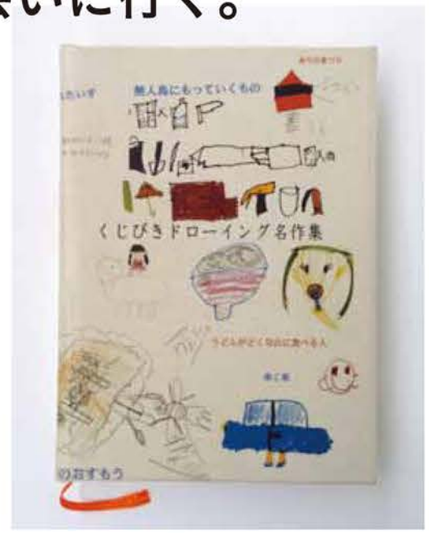
主催：静岡大学、静岡県立美術館　助成：平成26年度文化庁「大学を活用した文化芸術推進事業」　協力：静岡市美術館
問い合わせ先：静岡大学アートマネジメント力育成事業事務局　TEL:054-238-4876（平日10:00〜16:00）

静岡大学

ミシラヌ［マチ｜ワタシ］に、会いに行く。

「めぐるりアート静岡」は、今を生きる作家を紹介する展覧会です。7名の作家の多くは静岡にゆかりがあり、また、この土地との交わりを作品にして表現します。美術館からギャラリーや絵画まで、マップを片手に、「めぐるり」しませんか。いつもの街で、「ミシラヌワタシ」との出会いがあるかもしれません。

生まれ育った藤枝は、気候温暖、風もなく、雪などめったに降りもせず、大変おだやかな地でした。それで私は風雪に耐えるということを知りません。明るい光の中、やわらかなみどりに触れ、ゆっくり歩きよく笑う藤枝ことばの人たちに囲まれて、静かに穏やかに過ごした少女時代を持っていることは、私の大きなしあわせだと思っています。このくじ引きドローイングワークショップはそんな苦労知らずの静岡人だからこそ考えついた企画ではないかと思います。人に向かって開き、人と人とがつながってゆくことがとても楽しいです。



『くじ引きドローイング名作集』手製本、2014年

07 乾　久子

金座ボタニカ

1958年　静岡県藤枝市生まれ
1981年　静岡大学教育学部美術専攻卒業
1983年　東京学芸大学大学院教育学研究科（造形芸術学教室）修了
　　浜松市在住
2007年　個展"Das Erlebnis der Linien"　Gallery Meta Weber／ドイツ
2011年　個展「毎日考えたことや祈ったこと」ギャラリィK／東京
2008/2011/2012年
　　ワークショップ『くじ引きドローイング』
　　遠州横須賀街道ちっちゃな文化展／掛川
　　（若いクリエーターたちとともに展開）
2014年　ワークショップ『くじ引きドローイング』
　　鴨江アートセンター／浜松

乾久子には三つの軸があるようだ。一つは手と身体の想像力を呼び起こすドローイング。次に言葉や写真などを用いてコミュニケーションの形を示すもの。そして子どもたちに向けたワークショップである。それらの活動は、アートは「誰にでも開かれている」、あるいは「人と人／人と場をつなぐ」、という辺りで交わる。線をひく・重ねる、また、言葉を思い浮かべる、といったさりげない行為にも、汲みつくせない謎があるように。（白井嘉尚）

ワークショップ『くじ引きドローイング』
くじ引きドローイングとはことばと絵のリレーです
①ことばが書かれたくじが箱に入っています。
②くじをひいて出たことばを絵にします。
③くじなのでどんなお題が出るかはわかりません。
④絵を描いたら今度は自分がことばを考えてくじを作ります。
⑤するとそのくじを誰かがひいて、絵にしてくれます。
くじをひく楽しみ、ムチャぶりなお題をなんとか絵にする楽しみ、
ことばを作る楽しみ、ことばと絵で誰かと繋がる楽しみがあります。
これまでうまれた作品と進行中の企画を展示し、期間中会場でWSをおこないます。

協力：由比北小学校、鴨江アートセンター・アウトオブスクールWS、他

●アーティストトーク
2月3日（火）13:00　石上和弘／静岡県立美術館 エントランス
　　14:00　鈴木康広／静岡県立美術館 ロダン館
　　16:00　鈴木貴博／サールナートホール
　　17:30　渡辺依理／Gallery PSYS
2月14日（土）13:00　齋藤彰英／ギャラリーとりこ
　　14:30　乾　久子／金座ボタニカ

●乾久子ワークショップ「くじ引きドローイング」
日時：2月8日（日）13:00〜15:00
　　2月15日（日）13:00〜15:00
場所：金座ボタニカ
定員：各回20人（参加無料・要申込み・先着順）
申込：054-238-4876（アートマネジメント事務局／平日10:00-16:00）

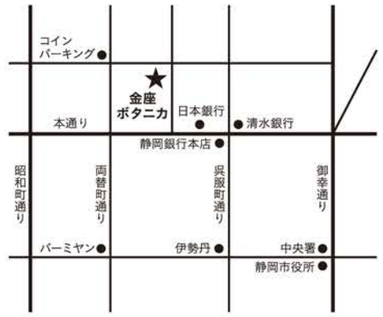
●鈴木貴博　映像作品「砂漠の水」上映（95分）
日時：2月11日（水・祝）12:00〜13:35
場所：サールナートホール　1階ホール
定員：30名（無料・当日11:00から整理券配布）
〜人間として生きるとは何か？その本質を問う〜
＊無音映像が上映中続くため、途中入退場はお断り致します。

●素我螺部＋αによるパフォーマンス
サールナートホール 14:00〜http//www.megururi.net

●タク・ヨンファン「映像と音楽の夕べ」
映像＋ライブ（丸山研二郎）＋アーティストトーク
日時：2月22日（日）16:00〜17:30
場所：Gallery UDONOS
定員：30名（参加無料・要申込み）
申込：054-346-7669（スノドカフェ）

07 金座ボタニカ

2/3（火）〜2/22（日）　休廊日：月曜日
〇13:00〜20:00　＊展示最終日は13:00〜17:00
住所：〒420-0029 静岡市葵区研屋町25
入場無料
Tel：090-6113-5421（下山）



http://www.megururi.net

めぐるり アート静岡

2/3 tue → 22 sun

（一部会場は3月1日まで）

01 石上和弘
静岡県立美術館

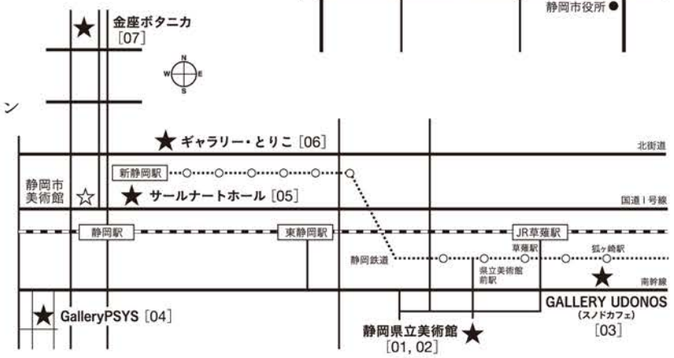
02 鈴木康広
静岡県立美術館

03 タク・ヨンファン
Gallery UDONOS

04 渡辺依理
Gallery PSYS

05 鈴木貴博
サールナートホール

06 齋藤彰英
ギャラリー・とりこ



（展覧会情報）
Shizubi Project 4「ヒトのカタチ、彫刻」
津田亜紀子／藤原彩人／青木千絵
静岡市美術館　エントランスホール
2014年12月16日（火）〜2015年3月22日（日）
詳細はhttp://www.shizubi.jp/をご確認ください。

●静岡県立美術館 Tel. 054-263-5755　●GALLERY UDONOS Tel. 054-346-7669（スノドカフェ）　●Gallery PSYS Tel. 054-288-1766　●サールナートホール Tel. 054-273-7450　●ギャラリー・とりこ Tel. 054-252-2364　●金座ボタニカ Tel. 090-6113-5421（下山）